

平成29年上半期の少年非行等の状況について

1 非行少年の状況

	総数	刑法犯			特別法犯			ぐ 少 犯 年	不 良 行 少 年
		小計	犯 罪 少 年	触 法 少 年	小計	犯 罪 少 年	触 法 少 年		
29年	597	528	342	186	69	69		5,590	
28年	525	447	288	159	78	72	6	5,704	
増減	72	81	54	27	-9	-3	-6	-114	

◆非行少年は597人で、前年同期と比べ72人(13.7%)増加している。

◆内訳としては、特別法犯が減少しているが、刑法犯が81人、約2割増加している。

刑法犯罪種別							
	総数	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯	知能犯	風俗犯	その他
29年	528	8	63	347	4	13	93
28年	447	5	62	272	2	18	88
増減	81	3	1	75	2	-5	5

◆前年同期と比べ81人増加しており、特に窃盗犯が著しく増加している。

◆刑法犯全体でも窃盗犯の占める割合が大きく、全体の約7割弱を占めている。

◆窃盗犯の手口は「万引き」が最も多く、全体の約8割を占めている。

特別法犯種別								
	総数	軽犯罪法	児童買春・ポルノ	道育成条例	風営法	売春防止法	不正アクセス禁止法	その他
29年	69	2	22	6	1	9	4	25
28年	78	2	36	7	2	4	5	22
増減	-9		-14	-1	-1	5	-1	3

◆前年同期と比べ9人減少しているが、罪種別では売春防止法が増加している。

不良行為種別							
	総数	深夜はいかい	喫煙	飲酒	粗暴行為	不健全娯楽	その他
29年	5,590	1,281	1,851	479	534	885	560
28年	5,704	1,424	2,136	515	472	637	520
増減	-114	-143	-285	-36	62	248	40

◆不良行為少年数は5,590人で、前年同期と比べ微減している。

◆喫煙が最も多く、全体の約3割を占めている。また、不健全娯楽が大幅に増加している。

2 薬物乱用少年の状況

	総数	大麻法	覚取法	毒劇法
29年	2	1	1	
28年	4	1	3	
増減	-2		-2	

◆前年同期と比べ、2人減少している。

◆学識別の内訳は、無職少年1人、有職少年1人。

3 福祉犯の被害状況

	総数	児福法	売防法	風 営 適 化 法	児童買春 ・ポルノ法	道育成 条 例	その他
29年	106	7	1	4	50	39	5
28年	75	5		10	33	25	2
増減	31	2	1	-6	17	14	3

◆前年同期と比べ31人増加。特に、児童買春・ポルノ事犯、道育成条例違反被害が増加している。

◆コミュニティサイト等の利用を起因とした被害少年は52人で、全体の約5割を占めている。

学 識 別								
	総数	未就学	学 生 ・ 生 徒				有 職 少 年	無 職 少 年
			小学生	中学生	高校生	その他		
29年	106	1	8	31	51		8	7
28年	75		2	32	24		9	8
増減	31	1	6	-1	27		-1	-1

◆106人のうち90人、約8.5割が児童・生徒・学生。